



MMWIN[®] みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 83

『MMWIN透析連携システム』を活用した病診連携

9月7日に開催した「透析連携のためのMMWIN活用Web講座」にてご講演をいただいた、吉岡まほろばクリニック武田技士長にMMWINを活用した災害時の病診連携についてお話を伺いました。



武田 将史 技士長

- Q** MMWINに透析データを挙げていただいているが、その理由、また期待していることをお聞かせください。
- A** 第一に患者さんの情報の受け渡しはFAX運用が一般的になっています。しかし、時間も手間もコストも掛かるため、FAXからMMWINネットワークシステムに変わればこういった問題が解消できると思います。
- また、受け入れ側の病院がMMWINネットワークシステムでの透析情報連携に変えられた時にすぐに対応できるようにとの準備も兼ねています。
- Q** 透析データをアップする作業はどなたがされていますか？
- A** 一日の終了業務に組み込まれており、スタッフ全員のルーティンワークとしてデータを手動ワウクリックでアップロードできる仕組みになっています。
- Q** 昨年より大崎市民病院との災害を想定した連携訓練を行っておられますが、この件に関して教えてください。
- A** 過去2回水害発生時に大崎市民病院、JCHO 仙台病院に透析患者さん50~60人を受け入れていただいた際、透析情報の送信にスタッフ総出で、まる一日かかった経験があります。その意味からも平時から災害時に備えることが重要であると思っています。また、MMWINのネットワークシステムには、まだまだ伸びしろがあると感じており、協議会名が「医療福祉情報ネットワーク」とあるように、災害拠点病院と我々クリニックの透析情報連携の橋渡しになることを望んでいます。それがMMWINのあるべき姿ではないかと思っています。
- 我々のような受け入れていただく側のクリニックと、受け入れ側の災害拠点病院が一緒になってMMWINの運用に積極的に進んでいくことが今後望まれます。それが患者さんにとってのメリットになり、我々の効率化、大幅なコスト削減に繋がりますので、できれば宮城県全施設での導入がなされればと感じています。

以上のことにより、MMWINスタッフの更なるネットワークシステムのサービスや事例紹介の啓発活動を期待しております。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)
【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>
【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp

『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。